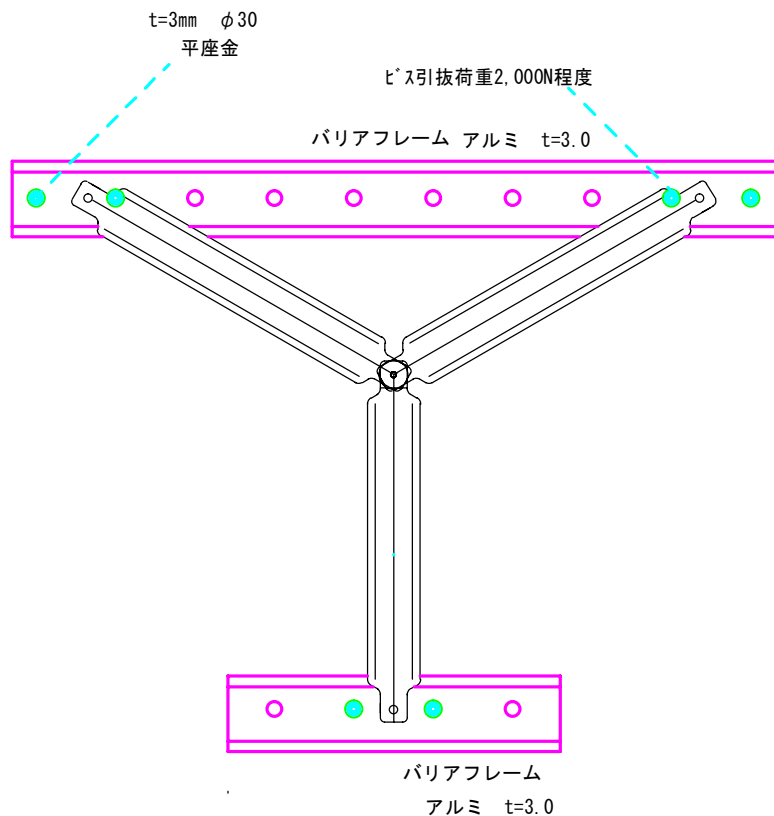
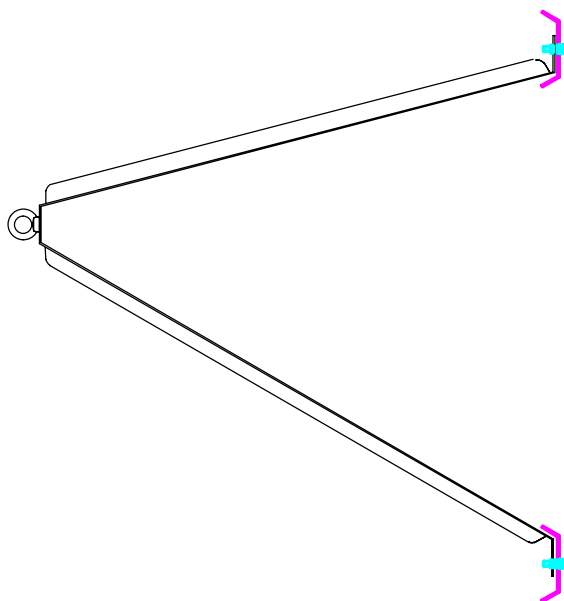
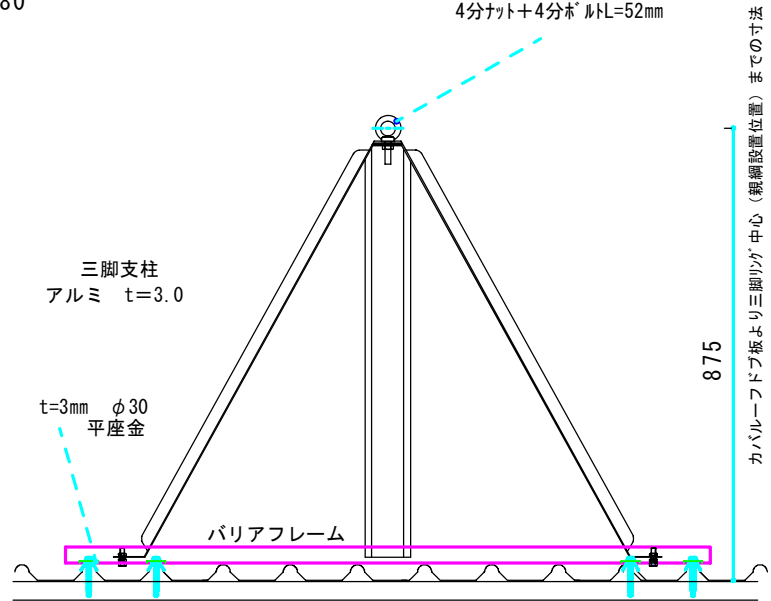
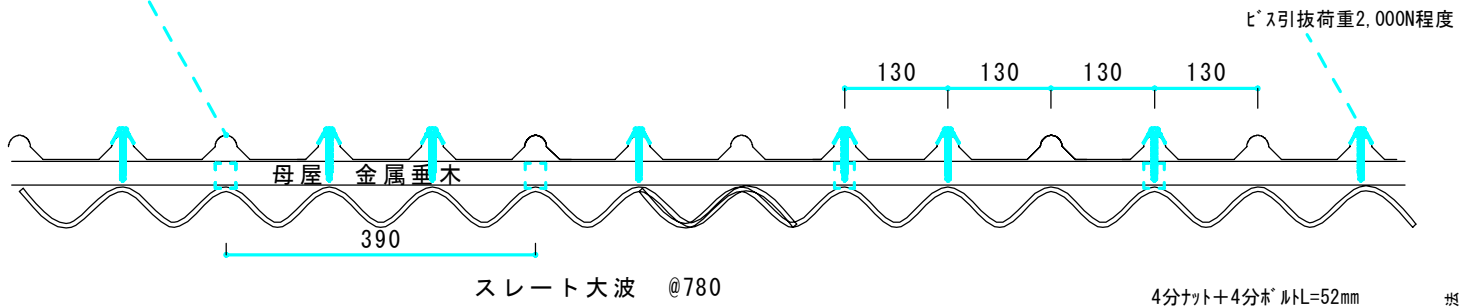


# N0、15 アルミスレート大波カバールーフ

スレート大波用カバールーフ



# 三脚支柱スレートカバー用 取付手順 ①



三脚支柱スレートカバー用の設置の際は、こちらのQRコードよりやり方をご確認ください。



## ① 取付位置墨出し

スレートカバーのドブ芯に三脚支柱のセンターとなります。

三脚支柱のセンター位置をマーキング



ショートバリアフレームを置き干渉するビスを外す

## ② ショートバリアフレーム取付 1

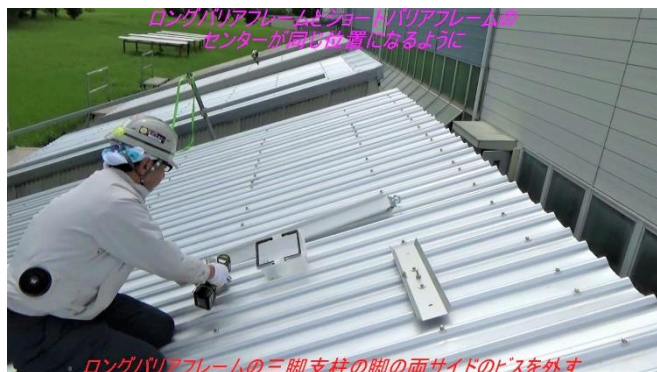
ショートバリアフレームのセンター位置とマーキングを合わせ、ショートバリアフレームの小さい穴(ボルトの両側)とビスが干渉した場合、そのビスを外す



三脚支柱の脚の両サイドに屋根取付ビスを専用の平ワッシャーと共に取付

## ③ ショートバリアフレーム取付 2

ショートバリアフレームのボルトの両サイドの穴から屋根材、下の母屋下地へ専用の平ワッシャーと共にビスを2ヶ所固定(母屋下地にしっかりと固定)



ロングバリアフレームとショートバリアフレームのセンターが同じ位置になるように

ロングバリアフレームの三脚支柱の脚の両サイドのビスを外す

## ④ ロングバリアフレーム取付 1

ロングバリアフレームとショートバリアフレームのセンター位置が同じになるのを合わせ、ロングバリアフレームの小さい穴(両端ボルトの両側)とビスが干渉した場合、そのビスを外す

別紙② 安全使用基準に  
遵守

2019年7月  
高柳板金(株)

# 三脚支柱スレートカバー用 取付手順 ②

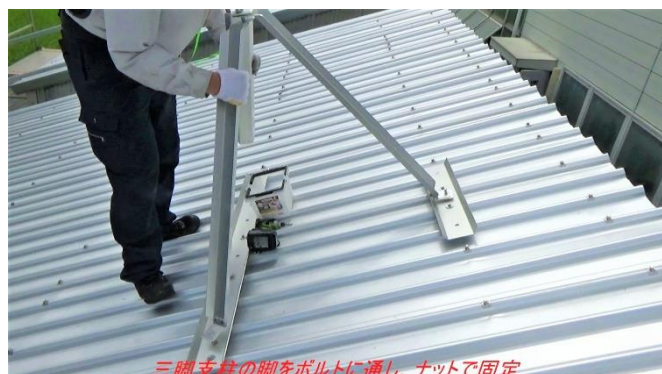


三脚支柱スレートカバー用の設置の際は、こちらのQRコードよりやり方をご確認ください。



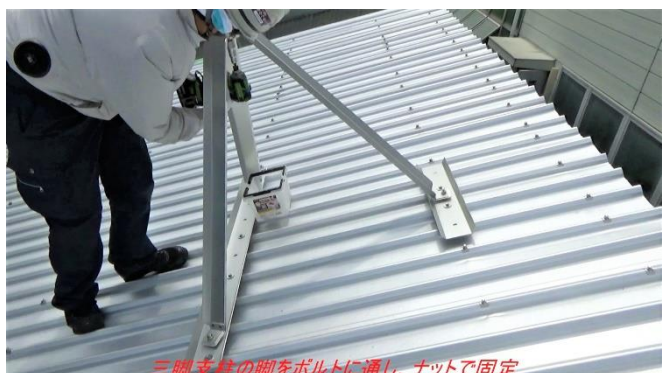
## ⑤ ロングバリアフレーム取付 2

ロングバリアフレームの左右のボルトの両サイド穴から屋根材、下の母屋下地へ専用の平ワッシャーと共にビスをそれぞれ2ヶ所(合計4ヶ所)固定  
(母屋下地にしっかりと固定)



## ⑥ 三脚支柱組立て

三脚支柱のボルトを軸に3枚の脚を回すように広げバリアフレームの3ヶ所のボルトに脚の先端の穴を通しナットで仮固定



## ⑦ 三脚支柱本締め

インパクトに17mm×21mmのビットを取付けて、ボルトの下側のナットを固定し、次に足元のボルトの3ヶ所のナットを固定  
締付はトルクレンチにて55N・mとする

## 設置完了

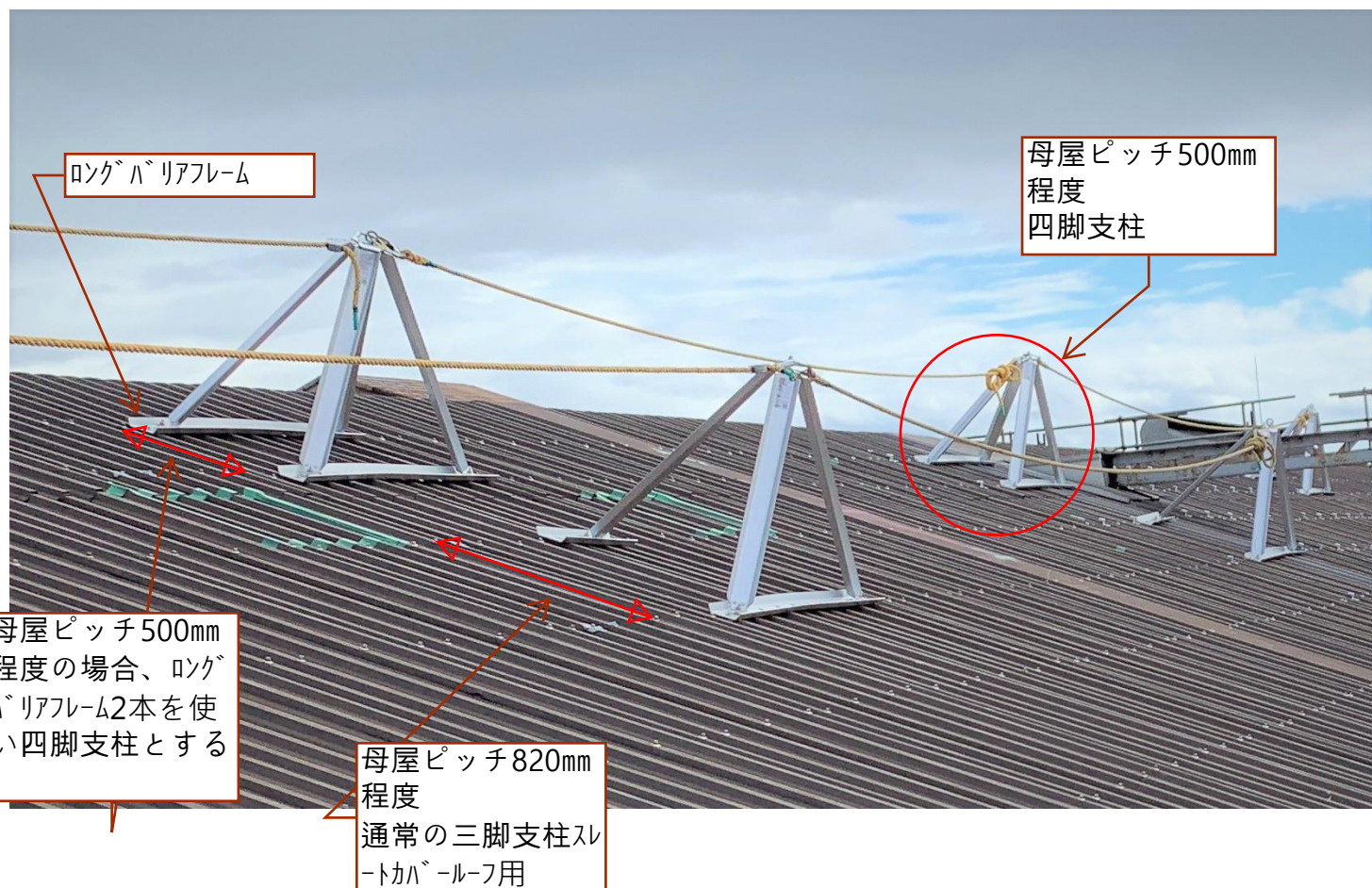
撤去後のバリアフレームのビスの盛替えの際はしっかりと母屋下地にビスを固定し漏水の無いよう止水すること



別紙② 安全使用基準に  
遵守

2019年7月  
高柳板金(株)

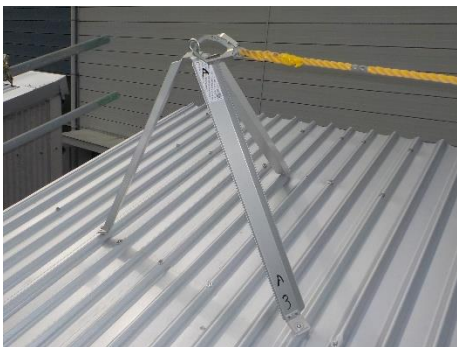
三脚支柱スレートカバー用は、母屋ピッチが820mmで設計されておりますが、下記画像の上段のように、母屋ピッチが500mm程度の場合のみ、**ロングバリアフレーム**を**2つ**使用し**四脚**で使用することも可能です。



## ・スレートカバールーフ用三脚支柱使用基準

### 取付及び使用する前には必ず使用基準をお読み下さい

- 1 衝撃するおそれのある床面等より **4m以上の高さ**が屋根の上部で確保されていること
- 2 スレート大波屋根の上にスレート大波用カバールーフが設置された屋根で使用する
- 3 三脚支柱の間隔（1 スパン）は **8m以内とし、1 スパン1 人**までで使用する
- 5 三脚支柱の中心が折板端部（軒先、ケバ、開口部）より離れ **1.5m以上**離して設置すること
- 6 必ず支柱用親綱はホリエステル製φ16（仮設工業会認定品）を使用し（ワイロープ等は使用禁止）緊張器にて十分緊張させること
- 7 墜落等で衝撃を受けた**支柱及び変形をした**バリアフレームは使用しないこと
- 9 設置及び撤去作業時は**保護手袋**を着用すること
- 10 三脚支柱をスレートカバールーフの**ビス3ヶ所での固定**で使用しないこと（左側画像）  
右の画像のように**バリアフレーム**を必ず使用すること



3ヶ所ビス固定  
では墜落衝撃  
時、衝撃にビス  
が耐えられず、  
ビスが抜けるた  
め危険



バリアフレームを  
使用すれば墜  
落衝撃時、衝  
撃をフレーム全  
体で吸収でき安  
全

### バリアフレーム無しでの使用しない

### 必ずバリアフレームと共に使用

- 11 安全帯（ランヤード長さL=1.7m以下）、支柱用親綱は安全性の確認されたものを使用すること
- 13 三脚支柱の上部リングに直接安全帯を使用しないこと
- 14 屋根出隅部の三脚支柱の設置は下記QRコード内別紙⑦の基準による（出隅部は三脚支柱が連続して2脚必要）
- 16 三脚支柱とバリアフレームを固定するトルクは **5.4kN・cm** とすること
- 17 三脚支柱使用時はフルハーネスタイプの墜落制止用器具の使用を推奨とする
- 18 下記QRコード内の三脚支柱取扱説明の各資料を確認すること



軒先側

出隅部は各辺ごとに区切る

軒先側にY時の先端がくるよう設置

▽屋根端部

1500

親綱

親綱

8,000以下

8,000以下

8,000以下

8,000以下

親綱

8,000以下

1500

8,000以下

8,000以下

8,000以下

親綱

1500

△屋根端部

軒先側

\* 軒先側 水が流れる端部側

\* ケラバ側 水の流れが無い端部側

スレートカバールーフ三脚支柱設置位置 (例)

屋根勾配

▽屋根端部

ケラバ側

ケラバ側

△屋根端部

4寸勾配程度を想定

屋根勾配

